

わくわく どきどき 通学合宿体験

1週間家を離れて集団生活しながら通学する「だいせんセカンドホーム」(大山小学校)、「大山宿泊体験塾」(大山西小学校)が大山青年の家で行われました。

学年に関係なくグループ分けされた子どもたちは、1週間テレビもおやつもない生活の中で、掃除や洗濯などの様々な体験活動に取り組みました。この体験を通して、子どもたちは、がまんすることや助け合うこと、家族や友達を見つめ直すきっかけになり、自立心や思いやりの心が高まったようです。

参加児童の感想文を紹介します。



1週間をふりかえって

大山西小学校6年 山根 歩美

私は、この宿泊体験は、4回目です。私が一番楽しかったのは、草木染めです。木のはっぱにチタンやスズをぬって、それをぬのにつけて、アイロンをかけると色がこくなりました。私は、今年がいぬ年で、年女なので、犬を書きました。とてもかわいくできたと思います。

私は、この宿泊体験が大好きです。でも私は、6年生なので、これが最後の宿泊体験です。親とはなれるのは、ちょっと悲しかったけど、友だちがいっぱいいいたので、さみしくありませんでした。この宿泊体験では、いろんなハプニングがおこったけど、とっっても楽しい1週間をおくることができました。

私がこの宿泊体験で学んだことは、親の大切さと、親のくろうと、それから友だちの大切さです。お母さんは毎日みんなのせんたくものをほしてくれて、お父さんは私たちのためにいっしょうけんめいがんばってはたいてもらったおかげで今、私がこうして生活できるのです。

私は、これからも友だちや、親をたいせつにしていきたいと思っています。今年は私が班のリーダーでせきにんがあつたけど、みんなをまとめてしっかりやれたと思います。5年生は来年は6年生なので、しっかり下学年をリードしてささえてほしいと思っています。

今年の作況を占う

くだがゆ 管粥神事

約250年以上行われているとされる逢坂神社の管粥神事が2月12日(日)行われました。

管粥神事は、大釜の中に

米一升と竹筒を入れて煮立たせ、竹筒の中に入った粥の量で豊凶を占う珍しい神事です。竹筒は全部で24本

あり、それぞれの筒が作物や魚などの豊凶を占います。気になる結果ですが、全体的に8分程度とまずまずの結果でした。



1つ1つ丁寧に竹筒を割っていきます



竹筒には番号が刻んであります